

# まほろば 自然農園だより

2019-6月号



宮下 洋子  
*Hiroko Miyashita*

ボランティアさんたちと朝の挨拶

## 最高の讃め言葉！

先日ボランティアに来て下さったご夫婦が、  
平日に来られて、

「ご主人はどちらですか」と聞かれました。  
「新しい倉庫の方にいると思い  
ますけど・・・」

「エッ、後ろ姿がスリムなので、  
ご主人ではないと思いました。」

先日、転んで頭を打って以来、  
食欲がなく、しばらく、甘夏と  
ジューシーフルーツしか食べてい  
なかつたので、ずいぶん痩せ  
ました。頭痛がするというので、  
心配して病院に行きましたが、  
何でもありませんでした。でも、  
何か心境の変化があったよう  
です。（主人の報告と合わせてお読み  
下さい。）

## ボランティアさんと老人力

ボランティアさんのお陰で、大分、作業の遅  
れが取り戻せて来ています。

池田さんがいなくなったのと、旭川への息子  
の引っ越しと、築77年の自宅のリフォームな  
ど、思ったより手間取つてしましました。どうな  
る事やらと思ったのですが、主人も、主体的、積  
極的に働いてくれるようになってきたのと、私た  
ちと高田さんとのコンビも息がピッタリで、仕事  
が良くはかどるようになってきました。あなど  
れません、老人力！！



## ほうれん 法連草が終 了

あれだけたくさん  
穫れた法蓮草もほぼ  
終了しました。苗作  
りしたいろんな野菜  
の定植をするための  
場所づくりで忙しくて、  
次の作を連續して  
植えられなかつた  
ので、しばらく法蓮  
草はありません。運  
悪く、5月末の30

度越えの暑さの前に植えた法蓮草が、今、きれ  
いに発芽したところです。ほうれん草は暑さに  
弱く、発芽しにくいのですが、催芽処理をして  
いないのに今までで一番きれいに発芽したので  
す。きっと、主人の肥料設計と、真空播種機と、  
灌水設備の3点セットだと思います。

でも、だんだん暑さに向かうこれからが大変  
です。大体こんなに暑くなって法蓮草は植えた  
ことがなかつたので、実験的な意味合いもあります。

どうして今まで植えなかつたかと言うと、ど  
んなに品種を選んでも、春夏はすぐトウ立ちし  
てしまうからです。それに日本法蓮草は、本来  
は秋冬の野菜で、春にはトウ立ちして花を咲か  
せ、種を残すというのが本来なのです。それに  
西洋種と交配させたり、トウ立ちしにくい西洋  
種だけの種とかあって、春にはその品種を植え  
ています。

## 自家採種の妙味

西洋種の種は丸く、日本種の種はトゲが  
あります。丸種の西洋種の種を自家採種す



法蓮草の収穫

ると、トゲのある日本種の種も混ざってきます。  
きっと、味の良い日本種の種と交配させている  
のだと思います。種苗会社は、きっと、丸種の方  
が播きやすいので、味の遺伝子も取り入れつ  
つ、種の形は丸いものを選抜し、ハイブリッド  
品種（F1）を作っているのだと思います。それ  
を自家採種すると、先祖帰りして、トゲのある  
種も出てくるようです。

そして、それをまた自家採種して植えると、  
トゲのある種からは、葉っぱも尖った剣葉種に  
なり、丸い種からは、丸っぽい葉っぱの丸葉種  
になります。その中間のようなものもあります。  
まほろば農園の法蓮草は、生命の多様性そのもの  
です。

揃いが悪くて不格好ですが、敬遠しないで下  
さいね。みんなのびのびと個性を謳歌していま  
す。



## 3 作目が飛んで、4 作目

例年、ハウスで一作目（3月4日と12日）、雪が解けてから、露地で2作目（4月下旬）を植えます（今、終了した法蓮草です）。

3作目は、露地で5月中旬に植えて、春作は終了します。それが植えられなくて、5月25日になってしまいました。5月25日は、3作目が飛んで4作目にあたります。

今まででは、土が痩せていたので、ハウスの一作目から、半分も収穫しないうちに、すぐトウ立ちしてしまっていたのですが、2作目も大丈夫でした。それで、遅れたけれど、思い切って植えてみたのです。

## できるだけ資材を使わない農業を

この時期の法蓮草は、ハウスに植えるか、露地だと寒冷紗（紫外線をカットするための上掛け資材）を掛けるのが通例ですが、肥料設計と、灌水で、還元型に持つて行って乗り切れないものかと考えています。できるだけ資材を使わない農業をやりたいからです。貧乏で人手不足で、安全性と環境を大事に考えるまほろば農園です。

環境汚染は避けたいし、資材をセットしたり、片付けたりの手間も省きたいし、資材の購入にもお金がかかるし、使えなくなった資材の処分にもお金がかかるからです。

これからは、6月の温度と紫外線との闘いです。闘いと言わぬいでコラボと言わせて下さい。ハウスの温室を片付けた後にも法蓮草を植えてみたいと思っています。

## 法蓮草がトウ立ちしないのは？

トウ立ちするのは、栄養成長から生殖成長に切り替わるからで、土が痩せていると、生殖成



長に切り変わりやすくなります。今年の法蓮草がトウ立ちしないのは、主人の肥料設計のお陰で、土が肥えてきたからだと思います。肥えてきたと言っても、チツソ肥料（ブラドミン）はほとんど入っていないくて、もみ殻堆肥やバーク堆肥、ヌカ、腐植酸、ゼオライト、各種天然ミネラルなどです。

また、法蓮草は、日照時間が長くなると、生殖成長に変わりやすくなりますが、今植えた法蓮草は、まさに一年で一番日照時間の長い6月が成長期にあたるので、最悪のシチュエーションです。どうなる事やら、見守るしかありません。

## チンゲン菜と、ターツアイを少々出荷

灌水不足で、虫食いだらけになったチンゲン菜と、ターツアイが、灌水できるようになって、中から新しい葉が出てきました。この時期の無農薬の露地の青菜は、ほとんどどこにもないと思うので、病気の方やアレルギーの方には貴重だと思います。少々見栄えは悪いのですが、あえて出荷することに致しました。量はたくさんありません。



## 露地野菜の意味と意義

露地野菜は、ただ無農薬、無化学肥料、O－1テストで作っているというだけで、付加価値があるのではありません。今では、コンピューター管理の食物工場や水耕栽培など、科学的理想的に管理され、無農薬できれいな野菜が出来る条件も整っています。でも、O－1テストすると、いくら無農薬でも、なんだか頼りないのです。

## 生命力とは環境適応能力

自然は、時として、野菜の生育にふさわしくないと思われる過酷な状況に見舞われます。

極端な寒暖差や、降雨の多寡、強風、紫外線、そのどれをとっても、常に野菜にとって理

想的とは言えません。しかも、刻一刻、複雑に変化していきます。でも、だからこそいいのです。そのような自然条件の下で、環境に適応し、生き残るものだけが育つからです。生命力とは環境適応能力なのです。

O－1テストはそれを観ているのです。

露地野菜は、少しくらいしんなりしていても、洗ってビニール袋に入れて冷蔵庫に入れておくと、シャキッとしてびっくりするくらい元気になります。



## 栄養効果もしっかり

それに、目に見えない安全性や生命力だけでなく、栄養分析でも、ビタミンやミネラルが多く、特にビタミンCはダントツでした。（小別沢農園の時に、日本食品分析センターで小松菜を分析）、直射日光の紫外線に抗する為に、ビタミンCなどの抗酸化物質を多く産生するかも知れません。また、仁木農場でも分析してみたいと思います。

## 器量の悪い露地野菜

でも、常に風雨にさらされている露地野菜は、見栄えが悪く、正品率は低くなります。特に風が大敵で、折れたり、傷ついたり、色が悪くなったり、選別にも手間がかかります。

雨が降ると、泥がついて、収穫も選別も通常の倍も時間がかかってしまいます。洗うと傷みやすくなるし、水切りしたり、乾かしたりしている時間もない（高田さんが札幌に帰る5時頃までに用意）、よほどひどくない限り、そのまま出荷しています。

ご理解いただければありがたいと思います。

## 今、穫れている野菜たち

ボランティアさんに苦労して草取りや、間引きをして頂いたイチゴが、少しづつ、穫れ始めました。

半結球のミニレタス（マノア）と、サニーレタスも感謝デーころには出荷の予定です。

ミツバ、ニラも、少しづつ出荷していきます。

キヌサヤ、今、花が咲いているところです。一週間後くらいに収穫に入ると思います。

## トマト系とピーマンは息子が

今年は、旭川に新規就農した息子（正大）が、トマト系とピーマンを作るというので、ハウスでは調理用トマト（調理用は作らないというので）を27メートルハウスに1列、30本だけ植えました。

50メートルハウスには、春一番の青菜系の後に、ナスときゅうりを植えてみました。露地の物が出来るまでの早穫り用として植えたのですが、植えるのが遅かったので、たいして早穫りにならないようです



その上、先日の大風で、ハウスの屋根のビニールが剥がれてしまったので、夜は露地と同じくらいの寒さになって、よけいに成長が遅れています。

## 「播かぬ種は生えぬ」、「植えぬ苗は育たぬ」

6月は、果菜類や豆類の収穫が始まると同時に、今まで植えた野菜の管理や草取り、支柱立、人参やキャベツ、カリフラワー、ブロッコリー、枝豆など、秋野菜の種まきもしていかなければいけないので、ますます忙しくなります。とにかく、「播かぬ種は生えぬ」、「植えぬ苗は育たぬ」なので、がんばって植えていきたいと思います。



# かわいふあへむ

川合 浩平

ども-----！

ご無沙汰して

おります！

そして今年も

宜しくお願ひ

致します！！

え？ 遅い？

そうなんです。

今年は1ヶ月遅れの登場です。笑



そしてついに本厄の年齢になってしましました・・・。

では、今年の説明を簡単にしますと、1月に腰をやり、腰をかばいながら除雪、2月にはハウス張りをし、あへつという間に今になりました笑

腰をやった後、雪が少なくて本当に良かったです・・

さてここ最近の天気。

今日（6月5日23:55）は久しぶりに降った感じがあります。

が、5月は札幌もまったく雨が降りませんでしたし、暑かった。

暑すぎて雨も降らず降っても少しなので土がカラッカラに乾燥してしまい、雨でも水が浸み込みこまず、トラクターをかけたところは表面か

ら1cmの下は乾いている事が多かったです。実は、トラクターをかけると、雨が降らないと土が乾燥しやすくなり、雨がたくさん降ると土は乾きにくくなるのです。

これはトラクターのロータリーで下の土と表土を混ぜ合わせるため、土の下の水分を上に持ってくる作用で乾きやすくなり、水の通り道を遮断することで雨で入り込んだ水が行き場所を失うため乾きにくくなります。

トラクターをかけた表土に草もない乾燥した土は強風に乗って舞い、土嵐となって空に舞い上がり、畠の土はどんどん少なくなってしまいます。

しかし、もしロータリーをかけなければ、草があつたり平らな土じやないと機械での種まきはできませんし、苗を植えるにしても草を刈って苗を植える所の根を切つて・・・、と作業手間が10倍近く増えると思います。

トラクターのロータリーをかけるのは、人間の農作業効率を上げるためにだけと言っても過言ではありません。

化石燃料を使うので、もちろん環境に良いわけが無いです。

よく「いい土の条件は水持ちが良くて、水はけのいい土」と言われますが、まさに逆に行くのがトラクターのロータリーなのです。

他にも団粒構造を壊

したり、微生物のかく乱を招いたり、負の側面は色々あります。

最近、不耕起栽培が注目されていたのは、そんな一面を見直した結果でもあつたりするのです。

かわいふあ～むでも不耕起栽培はやりたかったのですが、管

理などの作業効率を考えると難しい面もあります・・・、

まあ、不耕起栽培も色々あるのですが、それはまたおいおい。

真面目過ぎて、らしくなくなりましたね笑

そしてその雨がないおかげで色々と成長も遅く、ほぼ全滅に近いところもあります・・・

雨がないので、種まきの後に不織布を掛けてい

ない所は、発芽した双葉を最後に消えていきました。

そんな乾燥なので、畠の草の発芽が少なく、例年より色んな緑の少ない畠になっております。

変わったことと言えば、今年はハウスでズッキーニを栽培してみています。

面白い事に寒い時は雄花が多く、雌花が少ないので収穫がほとんどない日多かったです。

今はもう収穫しているのですが、今年は暖かいので露地で早くからトンネルをかけて栽培しても、もう収穫できていたと思うのでハウスで栽培してみた感想を一言でいえば「やっつまつたー」です。

そんな温度が高い今年は、水さえあれば作物はどんどん育っていきます。

しかしそんなにかいがいしく水をあげられないのが、一人農業のツライ所。

好きな苗に思い思い愛情たっぷりに水を注ぐ隣の家庭菜園の主たちを横目に、枯れそうな野菜たちに愛情たっぷりの視線を送るだけの自分の畠では、その差は歴然たるものです。

玉ねぎは植えた後、乾燥と高温で苗が逃げ出したのかと思うくらいになくなったり、乾燥で定植したトウキビやエダ



マメが2週間近く成長が止まつた  
り、素直な自分は雨降る降る詐  
欺に騙され徒労と虚無感だけが残  
り、雨をあてにしないようにしな  
きやいけないと、改めて痛感して  
ました。

そして、今年は早くも近くの小川  
の水が真夏並みの水量に下がつて  
きていて、これからが心配です。

さて、今年は秘密兵器が登場しま  
した。

例年収穫し終わった畑は草が生い  
茂り、草を刈る時間も惜しくて手  
を付けないままにしてしまった反省もあり、思  
いきって草刈の機械（ハンマーナイフモア）を  
導入しました。

一回生い茂ると、草刈り機で草を何回かに短く  
切り分けて（めちゃくちゃ時間かかる）、乾いて  
からトラクターをかけるという作業の流れな  
のですが、大量の草が土の上におおいからさり  
土が乾かないで、結構時間が経たないとトラ  
クターをかけられないというジレンマがありま  
した。

このハンマーナイフモアは、重量がトラクター  
よりも断然軽いので雨の後でも作業が可能（土  
を踏み固めない）で、草を粉々に粉碎してくれ  
るので、草も土も乾燥が早く、トラクターのロー  
タリーにも絡むことがないので、刈ってから短



時間でトラクターをかける  
事が出来るようになりま  
した。

作業時間は今までの草刈り  
機の4分の1くらいで済  
み、作業してる間は座つ  
てられるので、身体の負担  
もぐっと減り、いいことず  
くめでした。

ただ、もちろん難点もあり  
まして・・・

諭吉さんがたくさん羽ばた  
いていなくなり、ハウスの  
脇で使うにはちょっと大き

過ぎて使えないのと、傾斜で安定感がないのが  
☆1つ減点ですが、公園の芝生刈にはめちゃく  
ちゃ効果を発揮できそうです。

ので、草刈アルバイトの依頼お待ちしてお  
ります！！笑

次号は、「ついに鳥かっちゃんよ？」「直売所い  
よいよ！」の2本立てでお送りいたします。笑

あ！忘れてた！

今年度も常時ボランティアさんをお待ちしてお  
ります！

お陰様で5月は色々な人に助けてもらい、1人  
で作業したのはたぶん5日位しかありませんで  
した。

ツワモノになると仕事前に早朝に1時  
間だけ来てくれる方など、皆さんご自  
分の都合と体力に合わせて来て頂いて  
います。

多くは語りません、畑を楽しみましょ  
う！笑

では、7月も宜しくお願いします！！

